

卒業50周年
の「疾風会」

白聖に光る愛校心

生誕100周年 盛岡一高の賢治碑に説明板

「生徒諸君に寄せる」



宮沢賢治詩碑の説明板の完成を喜ぶ小川さん、川上校長、堀合会長、起草委員の佐々木茂さん（左から）

盛岡一高を1967（昭和42）年に卒業した同期会の疾風会（堀合英則会長）は卒業50周年を記念し、同校正面玄関脇にある宮沢賢治詩碑前に説明板を設置した。除幕式が25日、現地であり、同窓生や在校生の約80人が参加。賢治も学んだ同校の歴史が一層、輝きを増すよう互いの研さんを誓い合った。

宮沢賢治詩碑は96年の川上圭一校長、矢部魁一応援団長（3年）を記念し、盛岡一高が紅白のロープを引いて除幕。同校応援団の織する白聖建設会が建立した。説明板はその詩碑に刻まれた詩「生徒諸君に寄せる」を解説したもの。高さ45センチ、幅28センチのステンレスに、説明文と賢治の写真が刻まれている。群青色の鋼板（高さ約1・5メートル、幅36センチ）の上部に張り付け、周囲の景観とも調和するようデザイン。事業費約40万円は白聖同窓会と疾風会が出した。

堀合会長（68）と賢治詩碑建立当時の白聖建設会の会長である小川博さん（84）、盛岡一

高の川上圭一校長、矢部魁一応援団長（3年）が紅白のロープを引いて除幕。同校応援団のリードで校歌を高らかに歌い上げた。

堀合会長は「賢治のエールをしっかりと受け止め、若い人たちにも受け継いでいってもらいたい」とあいさつ。小川さんは「詩碑の意味が一層強く感じられるようになった。感謝に寄せる」は、27（昭和



盛岡一高応援団のリードで校歌を歌う疾風会のメンバーら

候補者調整は党本部判断

民進党の黄川田氏の 江田代表代行の新3区で

民進党の江田憲司代表代行は、25日の県選で、定期大会後、取材に応じた。この中で衆院の

つている。作に至らなかつれ、同誌にはが発表された言葉にも賢治才能がにじむ矢部団長は

融資実

日本政策、金融公庫、岩手におけ策金融公庫の年度ソーシャス関連融資実09件（前年1・4％）で00万円（同3％）と過去った。同実績NPO法人向16件（同12で1億200164・5％増加の要因・福祉事業者の課題解決

できるだけ協化している。全国調整は始まっ一本化する作「と強調

新区割りは表の旧3区と小沢一郎代表が重複する。